

一般会計
予算額

192 億円

前年度比 1億4,500万円(0.7%)減

元気な中野市づくり

新たな施策への取り組み／市民との情報の共有
／市民生活と地域経済の安定・向上

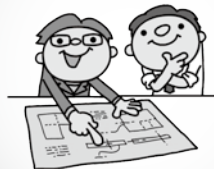
交流・連携・協働



経済産業活性化・
地域力強化



都市基盤整備



新しい 中野市の創造

健康福祉・教育都市



音楽・文化・
観光のまちづくり



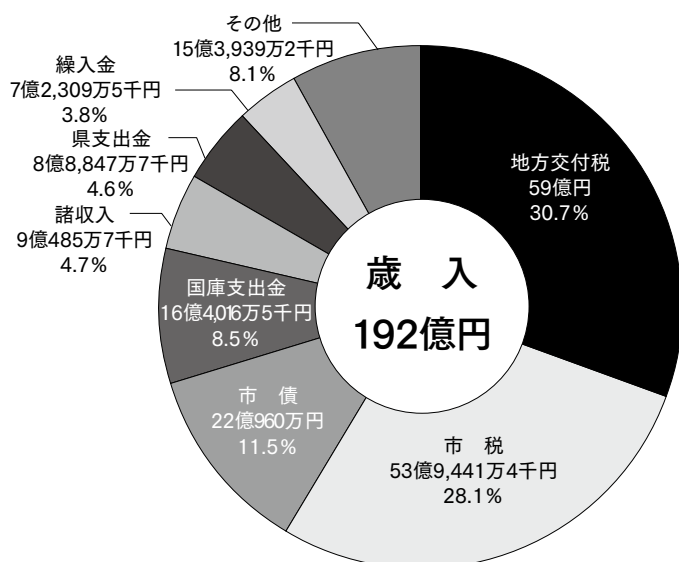
平成25年度予算は、市民の安心した生活を支える予算とし、「新しい中野市の創造」をキーワードに、①交流・連携・協働、②経済産業活性化・地域力強化、③音楽・文化・観光のまちづくり、④健康福祉・教育都市、⑤都市基盤整備、の5項目を予算の柱としています。

新たな施策への取り組み、市民との情報の共有、市民生活と地域経済の安定・向上を予算編成の基本姿勢として、「元気な中野市の実現に向け、市民の期待に応える」予算としたところであります。

ハード事業については、必要不可欠な事業を厳選して予算付けし、地域に密着したソフト事業に重点を置き、緊急性等将来の財政負担等を十分検討・考慮し、時代の流れに即応した、新たな施策も視野に入れ、行政が責任を持つべき事業の精査を行い、真に必要な事業への予算配分としました。

また、新たな経費を補うため、引き続き一層の行政のスリム化を推進するとともに、経常経費の抑制を図り、債権管理の適正化により、収入の確保に全力を挙げ、今後の更なる財政逼迫をにらみながら、規律ある財政運営に努め、地方交付税および各種補助金・交付金などの財源を最大限活用して、「緑豊かなふるさと 文化が香る元気なまち」の実現に向けた予算編成としました。

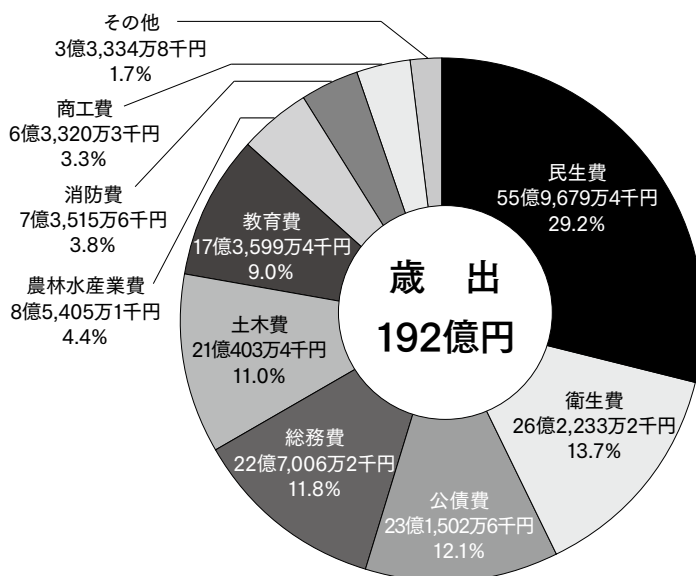
歳入の主な特徴



- ◇市税収入は、ほぼ前年並みを見込んでいます。
- ◇地方交付税については、国の地方財政計画などから推計し、前年度比1億円の減額を見込んでいます。
- ◇一般会計の市債残高は、前年度見込より1億4千万円増加しますが、臨時財政対策債を除くと4億2千万円減少する見込みです。

歳出の主な特徴

- ◇総務費は、予定していた3年間の積立が終了した合併振興基金積立金の減などにより、前年度比で約9億円の減額となります。
- ◇民生費は、さくら保育園整備事業が完了した保育所維持整備事業の減などにより、前年度比で約3億円の減額となります。
- ◇衛生費は、事業2年目に入り本格化する北信総合病院再構築事業および新斎場建設に伴う負担金が増加する北信保健衛生施設組合負担金の増などにより、前年度比で約6億2千万円の増額となります。



会計別予算額

会計名	予算額	前年比
一般会計	192億円	△0.7%
特別会計	国民健康保険事業	52億3,929万円 △1.2%
	後期高齢者医療事業	3億9,419万円 △0.8%
	介護保険事業	38億7,787万円 5.8%
	倭財産区事業	105万円 56.3%
	永田財産区事業	52万円 32.6%
	中野財産区事業	230万円 △0.6%
	下水道事業	18億5,065万円 1.8%
	農業集落排水事業	7億1,511万円 4.0%
小計	120億8,098万円 0.6%	
企業会計	水道事業	15億5,634万円 12.1%
合計	328億3,732万円 0.3%	

一般会計は、市が行う事業の大部分を占め、市民の皆さんから納付していただく市税や、国、県からの交付金などが主な財源となります。

これに対して特別会計は、特定の事業を行うための予算で、主に保険料や使用料などの収入で賄われています。

また、企業会計は、事業で得る収入によって支出を賄う独立採算型の会計となります。